

## 創業者と県北エリア地域プレイヤーをつなぐ創業セミナーの開催

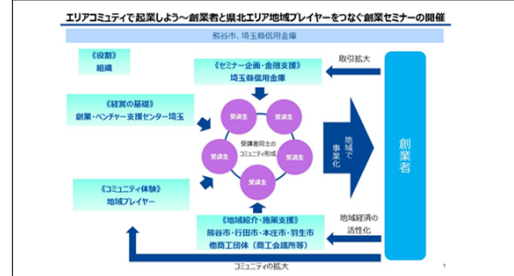
熊谷市 × 埼玉縣信用金庫

### 取組概要

埼玉県北エリアでは、人の流れがロードサイドの大型店舗に移行し、従来の中心市街地の活気が失われつつある状況。埼玉縣信用金庫が埼玉県北地域4市（熊谷市、行田市、本庄市、羽生市）と連携し、地域プレイヤーとの交流や街歩きに加え、経営の基礎を学ぶ座学を組合せた実践的な創業支援プログラムを実施。



開催概要チラシ



スキーム図

### 基本情報

代表地方公共団体	熊谷市
代表民間団体	埼玉縣信用金庫
他の連携団体等	本庄市、行田市、羽生市、埼玉県、創業ベンチャー支援センター埼玉、コトラボ（同）、日本政策金融公庫、熊谷商工会議所、行田商工会議所、南河原商工会、本庄商工会議所、羽生市商工会、日本財団
カテゴリ	起業支援／文化・コミュニティ対策
事業費	100万円（2022年度）
めざすSDGsゴール	
事業化までの期間	2022年7月～2022年10月

### 取組内容



本庄市にて先輩創業者から話を聞く様子



座学セミナーの様子

この取組で解決した課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県北エリアでは、人の流れがロードサイドの大型店舗に移行し、従来の中心市街地の活気が失われつつある状況。</li> <li>その一方で、個性的なビジネスモデルの店や、魅力的な個店を運営する地域プレイヤーが存在する地域でもある。</li> <li>創業予定者とその個性的な地域プレイヤーをつなぐセミナーを開催し、魅力的な地域プレイヤー（点）が連鎖的に開業し、魅力的なまちづくり（面）へ展開し、域内経済における好循環を達成することを目指している。</li> </ul>
解決に向けた手法	<p>令和4年7月から10月にかけて計5日間の「エリアコミュニティで起業しよう～創業起業セミナー～&amp;県北のエリアコミュニティを見に行こう～」を開催（企画・主催：埼玉縣信用金庫。共催：創業ベンチャー支援センター埼玉、合同会社コトラボ。後援・協力：埼玉県、熊谷市、行田市、本庄市、羽生市、熊谷商工会議所、行田商工会議所、南河原商工会、本庄商工会議所、羽生市商工会、日本政策金融公庫）。本セミナーは5日間通しての参加を原則とし、埼玉県北エリア4つの自治体（熊谷市、行田市、本庄市、羽生市）を訪れ、「経営の基礎を学ぶ座学」と「事業者訪問、街歩き」をセットにしたハイブリッド型の創業起業セミナー。各日の基本スキームとしては2時間程度の座学と2時間程度の街歩き、その後簡易的な交流会の3部構成にて実施。</p>

## 取組詳細

事業推進上の各団体の役割分担	経営の基礎を学ぶ座学に関しては創業ベンチャー支援センター埼玉が担当し「経営」「販路開拓」「財務」「人材育成」の講義を実施。 事業者訪問、街歩きに関しては、埼玉縣信用金庫、合同会社コラボにて訪問するプレイヤー、ルートを選定し、各自治体や商工団体、地元プレイヤーの協力の もと、街歩きを通して地域の紹介や、事業化までのエピソード等の話を聞く。
地域関係者との連携方法	経営の基礎は、創業に重要な要素であり座学部分を創業ベンチャー支援センター埼玉へ協力をいただく。地域を紹介いただく、地域プレイヤーについては、地域活 性化事業に数多く取り組んでいるコラボ合同会社の岡部氏を紹介を依頼、その他地域の魅力や施策を伝えていただくために、対象地の各自治体、商工団体にま ちあるきを依頼。
資金調達方法	本セミナーに関しては信金中央金庫をととして実施する（公財）日本財団の「わがまち基金」事業の助成金を活用し開催したもの。
資金調達方法の補足	わがまち基金とは、地域に新たなお金の流れを創出し、地域の課題解決や次世代の担い手育成に向けた取組みをサポートするため、（公財）日本財団の「わがま ち基金」を活用した地域創生支援スキームを、2017年度より提供しています。本スキームは、地域創生に資する事業に取り組む信用金庫や地元企業などに対し て、「わがまち基金」からの助成を行うものです。
事業推進上の課題・工夫	埼玉県北部地域の中心市街地では事業者数の減少が課題となっている一方、個人的な事業を営む個店や、地域プレイヤーが多く存在する地域であり、そのコ ミュニティが形成されつつある状況。従来型の座学中心のセミナーに加え、地域プレイヤーからの実体験や、地域の現状を話していただくことにより、受講生の創業への イメージがより具体化につながるよう工夫をしたもの。

## 担当者のコメント

埼玉県北部エリアでは個人的な事業者たちが、コミュニティを築きながら、個人的な事業を展開している。ロードサイド開発が進み、従来の市街地の回遊性が失われてきてい  
る中、活気を取り戻し、このコミュニティの輪を広げていく支援をしていきたいと考えており  
ます。

個人的な考えとしては、事業を起すには「想い」が一番大切と思うが、持続可能な事業  
にするためには「想い」だけでなく、「知識」が必ず必要となってくる。そこで、その「想い」  
を広げること、「知識」を身につけることの両面を支援できるセミナーを企画しました。  
この事業が中心市街地の活気を取り戻す一助になることを期待しています。



地域創生部 平原

## 優良事例応募項目

取組のポイント（3つの視点）	<p>①地方創生SDGsの視点 昨今、事業や働き方の在り方は「お金を稼ぐ手段」から「自分の想いを実現する」ことへ移りつつある。今回の事業は「地域のコミュニティとのつながり」を重視し、地域 経済の活性化を目的として開催したもの。これは働きがいも経済成長もの趣旨に合致。</p> <p>②ステークホルダーとの連携 各対象自治体および埼玉縣信用金庫では、中心市街地での商店等の減少に対し活性化策を共通の課題としており、今回の企画実施に至った。 今回のスキームでは「経営の基礎を学ぶ座学」を創業・ベンチャー支援センター埼玉（埼玉県産業振興公社）が担当し、「街歩き、地域プレイヤー拠点見学」で は各自治体、商工団体、地域プレイヤーとコースやプランなどを埼玉縣信用金庫と協働で企画し、案内を実施。</p> <p>③モデル性・波及性 地域の自治体、商工団体と金融機関が協働し、地域の課題と向き合い、地域事業者（プレイヤー）と創業者とを結び付け、地域での創業、起業を促進すること は、他地域においても展開が可能。 複数自治体を横断することにより、セミナー受講生のみならず、他地域のプレイヤー同士、自治体同士の結びつきにも発展。狭域ではなく、エリア（面）でのつなが りも強化につながるもの。</p>
----------------	--